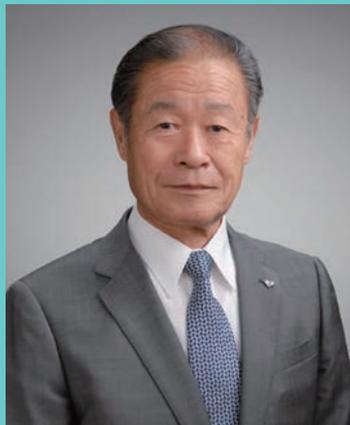


『がんばろう同窓会! がんばれ社大!』

同窓会会長 岩崎俊雄



社会福祉・社会保障の課題が2020年問題から2040年問題へと大きく転換してきましたが、新型コロナウイルス感染症の拡大により、改めて立ち止まって考え直す必要に迫られているのではないかと自問自答しています。なぜなら、コロナ問題は大きな経済問題であると同時に、世界中で新たな偏見や差別を生み、コミュニティの崩壊を招きかねない状況になっているからです。

まさに、社大同窓会の会員、そして学生はじめ教職員、その関係者一人ひとりに「社会の福祉誰が任ぞ」が問われる時代の再来であり、『忘我の愛と智の灯』が改めて求められているのではないのでしょうか。さらに、全ての市民の英知を結集し、我が事・丸ごと・地域共生社会の創造に向けた具体的な施策を実行に移す必要に迫られていると感じています。

このような時期、そして個人的には社大卒業50年という節目の年に、会長続投という重い荷物を背負うことになりました。思い起せば、3年前に大橋前会長からバトンを受け、恥ずかしくもなく会長を引き受けたものの、右も左もわからず、役員、幹事をはじめ会員等多くの皆様の心からのご指導、ご協力で今日を迎えることができました。改めて各位にお礼申し上げますとともに、この難局、危機を乗り越え、母校発展のため全力を傾注する所存でありますので、これまで同様のご支援を賜りますよう、心からお願い申し上げます。

社大同窓会

vol.

86

同窓会×大学

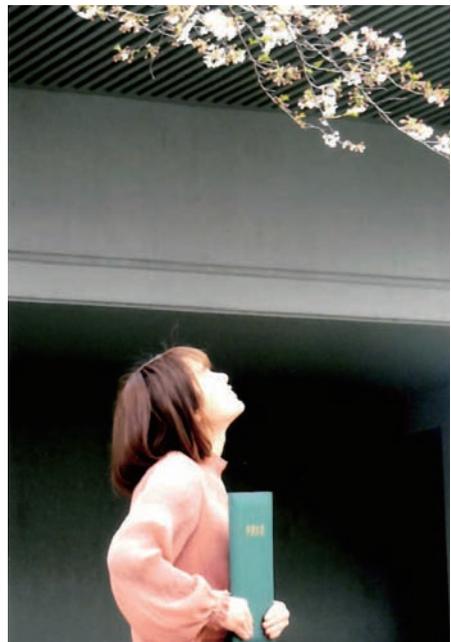
パートナーシップ推進



明日の福祉の担い手はここから



激動の時代
社会に羽ばたく



発行所/日本社会事業大学同窓会 〒204-8555 東京都清瀬市竹丘3-1-30 電話042-496-3053
振替口座00100-9-42448 ホームページ <http://jcsw-alumni.com/>

編集・印刷/株式会社 JA情報サービス(日本農業新聞グループ)

発行日/令和2年10月1日

桜咲き誇るキャンパス



清瀬 NOW

PHOTO NEWS



卒業を迎えて ●●●



タヌキ出没
(校庭中庭)

卒業生の皆様へのメッセージカード

長かった残暑もようやく峠を過ぎたようです。

いま、日本社会事業大学で過ごされた日々をどのように振り返っていらっしゃるでしょうか。

皆様のご活躍されていらっしゃる福祉の現場でも、今般の新型コロナウイルス感染症の出現により、今までの常識や習慣では対処が難しい場面を数多く迎えているかと思えます。

この怒涛ともいえる時代の奔流のなかで、社会に羽ばたかれ現場にあたる皆様にとって時に社会そのものが高い壁になることもあるかと思えます。そのような時は母校で培った社会福祉の価値観や皆様の一人一人の個性をもって、高い壁に挑んでほしいと切に願っています。

在校生一同、先輩方の輝かしい未来を応援し、これから立ち上がるであろう壁に、我々もまたともに挑めるよう研鑽を重ね、さらに日本社会事業大学を発展させていこうと思えます。卒業生の皆様のご健康と益々のご活躍をお祈りいたします。

2020年9月15日 在校生を代表して 学生自治会役員一同

※なお、学部の皆様には3月学位記送付の際学生自治会からの卒業記念品としてUSBメモリーをお贈りさせていただきました。

オンライン授業(専門職大学院)

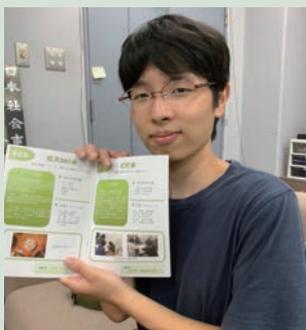


介護実習学内授業・入退校時サーモグラフィーで検温



ボランティアセンター学生スタッフ

「1step」活動紹介



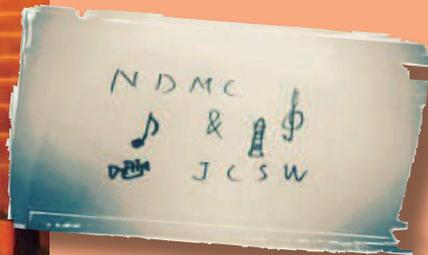
オンライン交流会 with 十文字学園女子大学

2019年に交流会を開催した「十文字学園女子大学」の皆さんと、9月にオンライン交流会を計画しています。今年度から「幸せ居場所ネットワーク」を立ち上げたとのこと。活動エリアが近いこともあり、地域福祉やボランティア等についてオンライン上で意見交換をし、交流を深めます。

「ボランティアサークル紹介2020」発行しました

新入生にボランティアサークルの活動を知っていただくために、ボランティア活動を行っているサークル・同好会・有志団体にアンケートを実施し、活動概要や年間スケジュール等をまとめた冊子を制作しました。本来ならば、この冊子を手「1 step」主催の「ボランティアトークサロン」で、サークル代表や先輩方から直接説明を受け、サークル選びをしていただきたかったのですが、コロナウイルス感染症対策のためイベントを中止し、冊子を新入生に郵送しました。一日も早く感染が収束し、サークル活動を再開できる日が来ることを願っています。





社大1~4年生と防衛医科大学校1~6年生で活動しています。パートの違いは関係なく、全体に和気あいあいとした雰囲気があります。

ブラスバンド サークル

「ブラスバンドサークル」って??

地域のイベントや施設での演奏、学祭や年末に開催される定期演奏会に向け、防衛医科大学校と合同で活動しているサークルです。互いに切磋琢磨し合いながら、楽しく楽器の演奏・練習をしています。

ブラバン 活動メモ

- 4月 部活動紹介での演奏 in 防衛医科大学校
- 5月 ばばるフェスティバルでの演奏
- 9月 高齢者施設での訪問演奏
- 10月 社大祭・防衛医科大学校文化祭での演奏
- 12月 定期演奏会

ばばるフェスティバル。演奏を終えて、はいチーズ!



定期演奏会。一年の最後を飾るビックイベントです。



ピザ会。

一緒にピザを食べながら新入生との顔合わせをします。



練習中…。

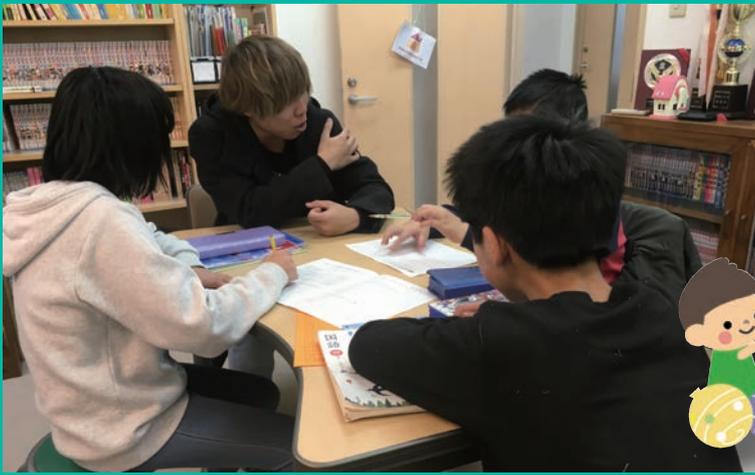


今年度の定期演奏会は、
狭山市市民会館にて
12月20日(日)に開催予定です!

●これからの活動

現在は新型コロナウイルス感染拡大防止のため活動を自粛している状態ですが、再開したときには、もっともっとたくさんの方が笑顔になれるような音楽を届けることができるよう、メンバー丸となって音に向き合っていけたらと思っています。訪問演奏のご依頼等ありましたら、お気軽にお声がけください。(サークル代表 鈴木初佳)

母校の支援と同窓生のネットワークを生かすため、あなたの同窓会への参加をお待ちしています。

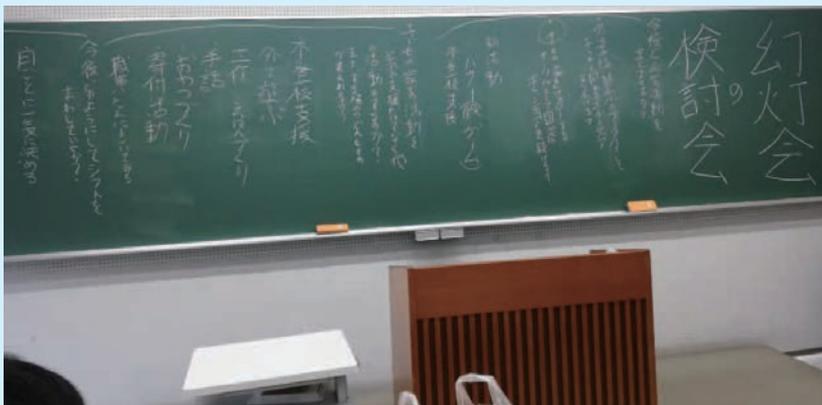


学習支援・遊び を通して 子供たちと交流



幻灯会って??

幻灯会は子どもたちとのふれあいを通して、児童養護について深く知ることを目的に活動しています。また、2017年からは清瀬市の児童養護施設「子供の家」での学習支援活動を専門に行っています。子どもたちに教えるだけでなく学ばされながら、日々楽しく活動に取り組んでいるサークルです。



何か課題が発生した時にはみんなで考えます。



新歓の様子です。たくさんのドーナツを食べながらゲームをして親睦を深めました。

幻灯会 活動 メモ

～通常の活動～
毎週、週に一回、小学生への学習支援活動
～イベント～
4月 新歓
7月 お祭りのお手伝い
翌3月 役職引継ぎ



集中しているみんなを見守りながら、困ったことがあれば一緒に考えます。宿題が終わったら一緒に遊ぼう！

●これからの活動

新型コロナウイルスの影響により、2020年の春から活動を休止しています。活動再開時期は未定ですが、一日も早い終息を祈りながら体調を万全に整え、再開後は昨年より更に子供たちと関係を深めながら活動していきたいと思っています。(サークル代表：三上 結衣)



みんなで出店の準備をしたり、子どもたちと一緒にお祭りを楽しみました。

母校の支援と同窓生のネットワークを生かすため、あなたの同窓会への参加をお待ちしています。



日本社会事業大学
学長 神野 直彦

東京大学大学院経済学研究科修士課程修了、
経済学研究科博士課程単位取得退学。
東京大学大学院経済学研究科・経済学部教授、
関西学院大学人間福祉学部・大学院人間福祉
研究科教授を経て、2017年4月より本学学長。
社会保障審議会年金部会部会長などを歴任。

「悲しみ」を「幸せ」に 社会福祉の研究・教育のリーダー校として

日本社会事業大学は「悲しみ」を「幸せ」に変えることを使命として誕生しました。というのも、日本の社会が悲惨に苦しんでいた第二次大戦直後の1946年に、国民の「悲しみ」を「幸せ」に変えることを使命として、日本社会事業大学は政府からの委託を受けて、社会福祉・ソーシャルワークの専門教育機関として創立されたからです。

日本社会事業大学の誇りは、単に日本で最も古い社会福祉の専門大学であるということにとどまりません。政府から委託された大学としての使命を果し、日本の社会福祉をリードした人材を養成してきたことにあります。

しかし、現代社会が複雑化するにつれ、新たな社会問題が生まれ、社会の「悲しみ」は深刻化するばかりです。それは「悲しみ」を「幸せ」に変えるために、指導的な福祉人材を養成するという日本社会事業大学の使命が大きくなるばかりだということの意味しています。

こうした使命を果すために、日本社会事業大学は社会福祉学部に加え、大学院として社会福祉学研究科および日本で初めての福祉専門職大学院である福祉マネジメント研究科を設置するとともに、通信教育科を設けて、社会福祉の専門大学としての研究・教育体制を整えています。「悲しみ」にくれる人々に温かい手を差し伸べたいと志す多くの皆さんが、本学で学び合い、社会福祉の第一線で活躍し、多くの人々に「幸せ」を届けていただくことを願っています。



社会の変化を見据えて、
福祉の第一線で活躍できる
ソーシャルワーク実践力を
身につけてほしい

社会福祉学部
学部長
金子 恵美



人々の「幸せ」に寄与する
研究者の育成を目指して

大学院
社会福祉学研究科
研究科長
藤岡 孝志



仲間や教員との対話を
通じて、新しい時代の
社会福祉を切り拓く

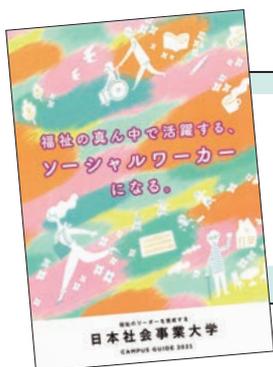
大学院
福祉マネジメント研究科
研究科長
井上 由起子



福祉専門教育の
パイオニアとして
ソーシャルワーク実践の
リーダーを養成します

通信教育科
科長
後藤 隆

出典：「大学案内」「大学院案内」「通信教育科総合案内」より



2021年版
「大学・大学院・通信教育科案内」が
完成しました。
ぜひお手にとってご覧ください

お問い合わせこちら

〒204-8555 東京都清瀬市竹丘 3-1-30 入試広報課
TEL / 042-496-3080 FAX / 042-496-3081
URL / <https://www.jcsw.ac.jp>

資料請求はこちら

<https://www.postin-svr.com/entry/jcsw/gakunai/index.asp>

◆2020年度事業計画

同窓会は、社会福祉の実践者として「忘我の愛と智の灯」の校歌の下結集し、卒業生同士での活動だけでなく、在校生とも一緒になって、今後も社大教育と実践をつないでいく。

実習現場の提供や就職の支援、そのための卒業生のネットワークづくりをさらに推し進めるため(1)支部活動の活性化(2)在校生との交流・同窓生間の交流の促進(3)大学とのパートナーシップの推進に引き続き取り組んでいく。

◀同窓会活動強化のためのキーワード▶

同窓会総登録数 16,879人 清瀬年代(入学者) 8,707人		会報送付数 8,000部 同窓会の取り組みをもっと身近に
就職などの在学生支援 福祉現場で活躍する OB・OGとの交流会 同窓会支部コーナー設置	日本社会事業大学 同窓会	会費納入者(約1,500人) 同窓会基盤の強化 会費を納入する若い世代や 通信教育科修了生への参加推進
同窓会×大学 パートナーシップ推進	修学困難学生に対する支援 五味基金の活用 JCSWネットワーク 職場体験等応援制度	大学入試広報との連携 同窓会セミナー(地方大会)の活性化 大学講座への参加、協力

◆母校・在校生への支援

- (1)福祉現場で活躍するOB・OGとの交流会(「ビデオ通話アプリ・ZOOMによる交流会」実施検討)「就活フェア-in社大」を同時開催・故郷で就職を考えている同窓会支部コーナー設置。
- (2)JCSWネットワーク職場体験等応援制度の改善。在校生の就職活動や支部セミナーへの交通費等経費の助成(遠方の場合の上限額1万円)
- (3)同窓会「五味基金」による修学困難学生に対する奨学金支給。

◆2020年支部活動計画から

佐賀県 県内公立・私立高校訪問

佐賀県支部では、福祉系高校など公立・私立高校訪問を実施している。2018年には県内15校を訪問、社大への受験を呼びかけた。現在母校の本県出身在校生は四人であり年々増加傾向ではあるものの、佐賀県へのUターン者がほとんどいないのが課題である。

今夏も新しい大学案内パンフを直接配付して、社大の良さや特色を伝えていく。(8月、15校の訪問完了)

叙勲受章報告/同窓会関係の皆様

群馬県支部長 小出 省司さん(瑞宝小綬章・2020年春)
元茨城県支部長 上田 忠義さん(瑞宝双光章・2019年2月)

校章入りUSBメモリープレゼント

学生自治会作成による卒業記念品「木製USBメモリー(校章入り)」をプレゼントします。今回は、抽選で10名様に。住所・氏名を次のあて先までご連絡ください。

<郵便の方> 〒204-8555 清瀬市竹丘3-1-30
日本社会事業大学同窓会

<FAXの方> 042-496-3051

<E-mailの方>

kouyu@jcsw.ac.jp



2019年度 日本社会事業大学同窓会収支計算書

2020年度 日本社会事業大学同窓会予算

収入の部		(単位:円)	
科目	2019年度決算額	2020年度予算額	
会費収入	4,418,811	4,000,000	
入会金収入	28,443	30,000	
雑収入	15,196	50,000	
前年度繰越金	2,436,312	2,497,949	
合計	6,898,762	6,577,949	

【収支差引額】

6,898,762 - 4,400,813 = 2,497,949
(収入決算額) (支出決算額) (翌年度繰越額)

- ◆ 2019年度一般運営基金現在高 19,960,617
- ◆ 2019年度五味基金現在高 15,352,427

支出の部

科目	2019年度決算額	2020年度予算額	
会議費	45,165	200,000	
委員会活動費	33,292	50,000	
人件費	370,850	600,000	
支部強化費	437,240	600,000	
機関誌等発行費	2,487,020	2,600,000	
支部出張費	99,056	250,000	
通信運搬費	85,574	100,000	
学内学会助成費	100,000	100,000	
ホームページZOOM関係諸費	0	200,000	
慶弔費	19,500	50,000	
国際交流推進費	0	50,000	
卒業記念品費	211,410	250,000	
名簿作成費同窓会補填費	400,000	0	
事務局活動費	111,706	200,000	
予備費	0	1,327,949	
合計	4,400,813	6,577,949	

PHOTO NEWS

7月18日 顧問・正副会長・運営委員会合同会議



7月18日 法人・同窓会意見交換会

同窓会費納入に
ご協力を

同窓会は、卒業生同士の活動だけでなく在校生とも一緒になって、社大教育と実践をつないでいきます。会報「社大同窓会」を年に2回約8,000人の同窓生・約1,000人の在校生にお届けしています。会報に同封されている「同窓会年会費」納入用紙をお使いいただき一人でも多くの方のご協力をお願いします。

同窓会役員一同

社大の卒業生であることを誇りに

染倉 有希
学部57期
(2017年卒)

つくば市で高齢者支援に関わっていますが

私が現在、配属されているつくば市地域包括支援課では、名前のとおり、高齢者の総合相談窓口である、地域包括支援センター業務を基本に高齢者支援に関する業務を行っております。市内の高齢者を対象に、生活上での困りごとや介護、認知症の相談を受け、必要な制度やサービスの利用支援を行っております。つくば市全体では、人口約二万人のうち高齢者人口が約五万人と高齢化率は約二十%となりますが、六町村が合併し、東京二三区の約半分の面積の地域に、旧来からの地域、筑波学園都市の開発で生まれた地域、鉄道開通に伴い生まれた地域などによって高齢化率が十%台から最大約四十%など地区での課題は、全く異なり、地域に合

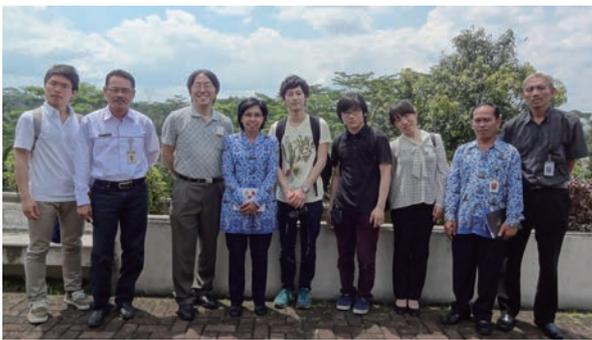


介護予防教室

せて必要な支援を行えるよう、委託型地域包括支援センターの設置や、家庭訪問等を実施しています。新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、例年とは異なる対応をしながら、このタイミングで、集合型研修をオンラインに移行させるなど、新しい取組みに挑戦する好機と考えています。

福祉系行政職員として

現在の職場に入職して四年目となり、個別支援だけでなく、地域で足りない資源などを行政として補うような事業を展開していかなければならないと感じています。地域包括支援セン



海外ソーシャルワーク研修



東日本大震災の被災地訪問活動

ター業務での市民からの相談を通して、市として取り組む事業をソーシャルワークの視点を含めた状態で展開していきたいと思っています。具体的には、高齢化の進行により、認知症の方が増え、独居または、高齢夫婦のみ世帯が増え、高齢夫婦の管理や身上保護のニーズが増え、制度利用が有効な方が利用できるよう、成年後見制度の窓口の整備や市長申立てができるよう、庁内外の関係部署と調整を行い、担当が変わるうとも支援が受けられるよう体制整備を行っております。今後、他部署に異動しても、個別支援から政策化する際には、法的根拠だけでなく、ソーシャルワークの視点を含めていきたいです。

学生時代の思い出

学生時代の思い出は、目の前に機会があれば、ほとんど

チャレンジしていましたが、特に、ボランティア活動と松窓寮のことが大きいです。社大に入学して複数のボランティアサークルや東日本大震災の被災地訪問等を通して、学生がボランティア活動での相談ができる場所が必要だと感じ、学部生全員にアンケートを実施し、当時でも他大学においても設置が進んでいたボランティアセンターの設置の必要性を学内学会で発表させて頂きました。それが直接影響したとは思いませんが、卒業後にボランティアセンターが設置されたこと聞き嬉しかったです。

松窓寮では、自治寮の業務に携わり、様々な寮生の意見を踏まえつつ、寮生にとつての最善の方法を考える難しさの身を持って経験しました。当時の問題としては、滞納問題・空調問題・改修工事問題があり、寮生の負担を最小限にし、寮生の最善の方策を同じ寮委員と夜な夜な検討し、当時取りうる最善の方法の選択ができたと思っています。その他、海外ソーシャルワーク研修に行かせて頂いたり学内学会で清瀬市内にある3大学（明治薬科大学・国立看護大学校）で同じテーマをそれぞれの分野で発表するなど様々なチャレンジをするなどができる環境にいたと今でも思います。

今後の抱負

今回、同窓会報誌への掲載打診を受けて、大先輩が多くいる中で、どのようなことを書いたらよいか、今自分が担当している業務は、自分の中でどのように整理されているか考えるきっかけになりました。卒業後四年程度ではまだまだ分からないことが多いのが事実ですが、「自分が無知である」という認識を持ち、様々なことに関心を持つ知的好奇心を持ち続けていきたいと考えていますので、先輩方のお知恵を折に触れて頂戴できたらと思いますので、よろしくお願いたします！後輩の方にも、自分自身の業務の棚卸しになるので、ぜひお声がけください！

学生時代に得て現在にも生きていること

学生時代に、同じ問題でも、立場が異なれば、課題点や着眼点が異なることを知り、それらを調整しつつ自身の考え



プロフィール 染倉 有希 (そめくら ゆうき)
1994年茨城県つくば市生まれ。2007年日本社会事業大学福祉計画学科卒業。
2007年つくば市に入職、地域包括支援課に配属